

令和7年度水質検査結果(平川)

(浄水)

鹿児島県工業用水道部工業用水課

試験項目	条例規定期間	工業用水協会標準値	R6年度平均値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均値
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1 水温(°C)	常温	—	20.3	19.6	21.0	22.3	24.4	24.8	24.3	23.2						22.8
2 濁度	20度以下	20mg/l以下	0.7	0.3	0.5	0.7	0.5	0.6	0.7	0.6						0.6
3 pH	6.0以上 8.0以下	6.5~8.0	7.2	7.2	7.2	7.1	7.1	7.1	7.1	7.2						7.1
4 酸消費量(mg/l)	—	75以下	32	31	30	32	32	31	32	32						31
5 全硬度(mg/l)	—	120以下	81	59	73	77	76	82	86	76						76
6 全蒸発残留物(mg/l)	—	250以下	177	148	164	185	198	178	194	187						179
7 塩化物イオン(mg/l)	—	80以下	14.2	15.2	13.4	13.9	14.5	12.3	13.4	14.2						13.8
8 鉄(mg/l)	—	0.3以下	0.30	0.24	0.24	0.28	0.32	0.27	0.31	0.32						0.28
9 マンガン(mg/l)	—	0.2以下	0.15	0.08	0.12	0.16	0.13	0.17	0.18	0.18						0.15

(注) ・工業用水協会標準値は(一社)日本工業用水協会によってとりまとめられた数値(参考)

・全硬度、全蒸発残留物、鉄、マンガンは環境計量士による測定

・1~4、7、8については、毎日測定の平均値を記載

・5、6、9については、毎月1回の測定値を記載

○試験項目解説

濁 度	濁り度合いを表す指標の一つです。 その水が濁っていればいるほど濁度は高くなり、その水が澄んでいればいるほど濁度は低くなります。
p H	水溶液の性質(酸性・アルカリ性の程度)を表す単位です。 中性はpH7で、これより低くなると酸性、高くなるとアルカリ性となります。
酸 消 費 量	アルカリ成分の量を表す指標で、これを炭酸カルシウムの量に換算して表したものです。
全 硬 度	水中のカルシウムイオン及びマグネシウムイオンの量を、これに対応する炭酸カルシウムの量に換算して、水1リットル当たりのミリグラム数で表したものです。
全 蒸 発 残 留 物	水の中に浮遊したり溶解したりして含まれているもので、蒸発乾固したときに残渣として得られたものをいいます。
塩 化 物 イ オ ン	塩化物が水に溶けているときの塩素分を指します。